

# 解放後の韓国大衆歌謡の年表 20 (1960 年)

山根 俊郎 「むくげ通信 277号」 2016. 7. 31より

1960 年 (出典：韓国のウェブサイト「KPOP」)

## 関連事件

- 1 月 韓国映画音楽作曲家協会が発足する。(会長 金聖泰)
- 5 月 この頃、日本音楽輸入禁止を解除した。日本の大衆歌謡が氾濫した。
- 6 月 この頃、新世紀レコード新堂洞スタジオが開館する。
- 7 月 4・19革命の歌 全国普及推進委員会が発足する。(委員長 金教声)
- 秋 LP音盤がSP音盤を凌駕し始める。
- この頃、作曲家 孫夕友 (男性 ヨ・ジギョ 1920-) がビーナス (비너스) レコードを設立した。

## 主要人物

- 6 月作曲家 李在鎬 (男性 イ・ジホ 1919-1960) 病気で死亡。
- この頃、歌手韓正茂 (男性 ハン・ジョンム ?-1960) 交通事故で死亡。

**主要作品** (\* 原文には題名のみ記載あり。歌手名レコード会社名は山根が記入) ○=今号で紹介。

- 『崩れた愛の塔』(마조진 사랑탑・무너진 사랑탑) 南仁樹唄・ソウルのキングスターレコード。
- 『海雲台エレジー』(해운대 엘레지・해운대 엘레지) 孫仁鎬唄・釜山のトミドレコード。
- 『カチューシャの歌』(카츄샤의 노래・카츄샤의 노래) 宋旻道唄・ソウルの新世紀レコード。
- 『青春ブラボー』(청춘부라보・청춘부라보) 都美唄・釜山のミドパレコード。
- 『4・19行進曲』(4·19 행진곡・4·19 행진곡) 朴載弘&安貞愛唄・新世紀レコード。
- 『ダンサーの純情』(댄서의 순정・댄서의 순정) 朴信子唄・ソウルの新世紀レコード。
- 『青い翼』(푸른 날개・푸른 날개) 朴載蘭唄・ソウルのオアシスレコード。
- 『マドロス ブギ』(마도로스부기・마도로스부기) 白夜城唄・釜山のトミドレコード。

## 社会文化的事件

- 1 月 在日歌手 金永吉 (男性 キム・ヨンギル 1909-1985 日本名は永田絃二郎) が北朝鮮に帰国 (北送)
- 2 月 民主党大統領候補 趙炳玉 (チョ・ビョンウク) が選挙の直前に死亡した。
- 4 月 19 日 4・19 革命が起こる。
- 5 月 李承晩大統領がハワイへ亡命する。
- 7 月 第 2 共和国が出帆。

## 外国大衆歌謡音楽史 重要事件

米国でいわゆる「ペイ オラ (PAYOLA) 慣行について議会の調査が始まる。音盤社と放送関係者の間に音盤を聴かせる代価に謝礼する合意があることを摘発した。

Payola とは、支払いを意味する pay とレコードプレイヤーの代名詞であった Victrola の合成語で、レコード会社が DJ に働きかけて特定のレコードを流してもらう見返りに、DJ にリベートを支払うことをさす言葉である。DJ は雇用的に不安定な職業で賃金も低かったため、生活の大半をこのペイオラに頼っていた。

また、1950 年代当時はペイオラを違法とする法律も存在しなかったため、そのやりとりは業界内で慣例化し、謝礼行為として認知されていた。しかし 1958 年、米国作曲家作詞家出版者協会 (ASCAP) はペイオラを放送倫理の腐敗と激しく非難し、下院議会に意見を諮っていた。議会はこの意見を聴き入れ、ペイオラを商業上の賄賂とみなし、違法とする法律を制定した。これにより、1959 年から 1960 年にかけて、ペイオラに関わった DJ をはじめとする音楽関係者の多くが、容赦なく業界から追放された。

## 1960 年の流行

(出典:「写真で見る光復 30 年史」(1945 年～1974 年) 正音社 1975 年発行 P148)

服装: マダム エックスライン ベルト (마담 X라인 벨트)

ブーム: デモ (데모)、暴露 (ポンノ・ 폭로)。

流行語: 恥知らず (ヤムチェ・얌체)、旧悪 (ク-アク・구악)、元凶 (ウォンヒュン・원흉)、死ぬか生きるか 決着(決判)をつけよう (チュンナ サナ キョルパン ネジャ・죽나 사나 결판 내자)。

## ☆ 1960 年に創作された 4・19 革命の歌

4・19 革命 (サイलगヒョンミョン、4・19 혁명) とは、1960 年 3 月 15 日の第 4 代大統領選挙の大規模な不正選挙に反発した学生や市民による民衆デモにより李承晩大統領が 4 月 26 日に下野した事件。最も大規模なデモが発生した日が 4 月 19 日であったことから 4・19 革命と言う。革命後 1 年足らずで 5・16 軍事クーデターが起こり長い軍政時代に突入したため未完の革命とも呼ばれている。私は、むくげ通信 240 号 (2010.5.30) 歌 153 『4・19 の歌』で 2010 年 4 月 19 日の「4・19 革命 50 周年記念式」で歌われた『4・19 の歌』(カンウク [강욱] 詞・金東振曲)を紹介した。しかし、この歌は後日に創作されたものである。4・1

9 革命直後にもっとも歌われたのは、『4・19 行進曲』(サイルク ヘンジンコク 4・19 행진곡 朴載弘 & 安貞愛唄・新世紀レコード)であった。♪学徒は勇敢だ 尊い血を流して民主主義を萬方に献血した 独裁は退陣せよ の叫び声は津々浦々の天地を振動させた 以下は 4・19 革命を讃えた歌である。各社が創作したが 1 枚の LP レコードに収められた。



『南原の地に眠る』

『風樂を鳴らせ』

レコード番号 『曲名』 作詞・作曲・歌手 ☆=ヒット曲。

1	『4 月の旗』 (サウレ キパール・4 월의 깃발) 半夜月詞・朴是春曲・南仁樹 & 学生合唱団唄。ミドパレコード制作。
2 ラベルあり	『南原の地に眠る』 (ナムウォンタンエ チャムトゥロンネ・남원땅에 잠들었네) 車京鉄詞・韓福男曲・孫仁鎬唄。4 月 11 日、馬山港で目に催涙弾を撃ち込まれ死体で発見された学生 金朱烈君を偲ぶ歌。彼の故郷が全羅北道の南原であった。トミドレコード制作。
3 ☆	『4・19 行進曲』 (サイルク ヘンジンコク・4・19 행진곡) 江南風詞・金富海曲・朴載弘 & 安貞愛歌。新世紀レコード制作。
4 ラベルあり	『風樂を鳴らせ』 (プンアクウルラ・풍악을 울려라) 青波詞・韓福男曲・韓福男唄。民謡風。ハンナラレコード制作

## ☆1960年にヒットしたオアシスレコードの大衆歌謡

この年、オアシスレコードは女性歌手朴載蘭（パク・チェラン 1936-）を専属歌手として獲得して『ハッピーセレナーデ』、『青い翼』などのヒットを飛ばした。私は朴載蘭が韓国最初のアイドル歌手と思っている。2曲とも作曲家全吾承（男性チョン・オスン 1923 -）が久しぶりにオアシスに復帰して作曲した。男性歌手安多星も『ボヘミアンマンボ』をヒットさせた。



歌手朴載蘭

『ハッピーセレナーデ』朴載蘭

←『悲しみを乗せた京釜線』  
安多星

『懐かしい釜山港』崔甲石→



レコード番号 『曲名』 作詞・作曲・歌手☆=ヒット曲。

67058-B面 ☆ラベルあり	『ハッピーセレナーデ』（해피세레나데）孫露源詞・全吾承曲・朴載蘭唄。伴奏 オアシス管弦楽団
67057-A面	『口笛の時節』（피파람 시절・휘파람시절）不明詞・不明曲・朴載弘唄。
不明-A面 ☆	『青い翼』（푸른날개・푸른 날개）鄭性壽詞・全吾承曲・朴載蘭唄。伴奏 オアシス管弦楽団
不明-B面 ☆	『ボヘミアンマンボ』（보헤미안 탱고）金星雲詞・金虎吉曲・安多星唄。伴奏 オアシス管弦楽団
不明-A面	『黄海道の花』（황해도 아가씨・황해도 아가씨）高明基詞・金華栄曲・崔淑子唄。伴奏 オアシス管弦楽団
LP盤 OL-10365☆	『鴨緑江七百里』（암록강 칠백리・암록강 칠백리）白湖=朴椿石詞・朴椿石曲・李海燕唄。1966年に李美子がリメイクした。1967年映画「懐かしさは胸ごとに」（그리움은 가슴마다）挿入曲。李美子唄。

来号は1960年-2を執筆します。【続く】